



商工中金景況調査（2023年5月調査・定例分）の公表について

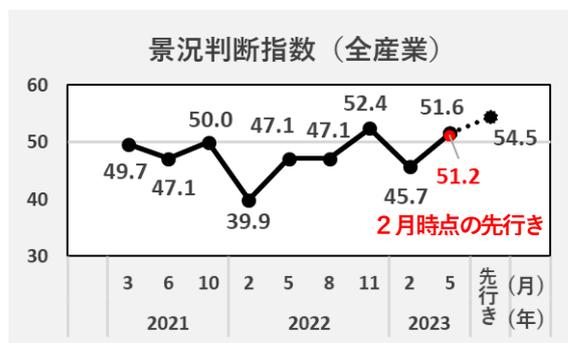
商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感などの実態把握のため景況調査を実施しており、今般2023年5月調査のうち毎回共通の質問項目（定例分）の結果について公表しました。

<2023年5月の景況感>

景況判断指数は2期ぶりに「好転」超。先行きはさらに改善の見込み

新型コロナウイルスの5類感染症移行などを背景とした個人消費やインバウンドの好調をうけ、食料品や飲食・宿泊で大きくプラスとなるなど、5月の景況判断指数は51.6と「好転」超となりました。

先行きに関しては、54.5と製造業を中心に「好転」超幅はさらに拡大する見通しです。

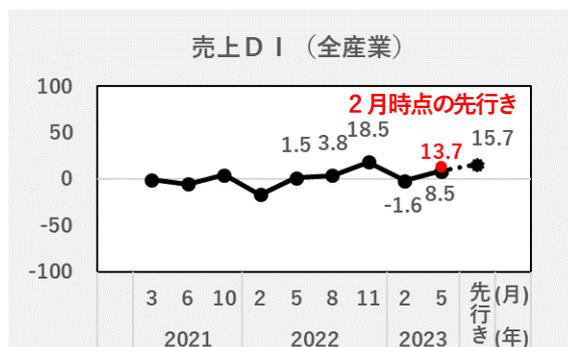


<2023年5月の業況判断>

【売上】製造業・非製造業とも「増加」超。先行きはさらに改善の見込み

受注状況・消費動向の好転や昨年から続く販売価格の上昇などにより、5月の売上DIは8.5と前回から一転して「増加」超となりました。

資金繰りDIについても2年ぶり好転超となり、売上増によるキャッシュフロー改善が示唆されます。



- ・本編資料は[こちら](#)をご覧ください。
- ・トピックス調査分(世界情勢の動向による中小企業経営への影響<仮>)は2023年7月下旬頃公表予定です。